

大和証券グループ 企業理念

「信頼の構築」

お客様の信頼こそが、大和証券グループの基盤である。お客様を第一に考える誠実さと高い専門能力により、最も魅力ある証券グループとなる。

「人材の重視」

大和証券グループの競争力の源泉は人材である。社員一人ひとりの創造性を重視し、チャレンジ精神溢れる自由闊達な社風を育み、社員の能力、貢献を正しく評価する。

「社会への貢献」

金融・資本市場を通じて社会・経済の発展に資することは、大和証券グループの使命である。法令遵守と自己規律を徹底し、高い倫理観を持って社会の持続的発展に貢献する。

「健全な利益の確保」

健全なビジネス展開を通じて企業価値を高めることは、株主に対する責務である。大和証券グループはお客様に価値あるサービスを提供して、適正な利益を獲得し、株主に報いる。

編集方針

本報告書は、持続可能な社会の構築に向けた大和証券グループのCSR活動に関する情報を、できるだけわかりやすく誠実に開示すること、および私たちの現状と課題を自己チェックすることを目的として、2002年から継続的に発行しています。私たちがこれまでに特定してきた重要課題に対する取組みの進捗状況と、今私たちが考えていることについての報告に重点をおいています。

編集にあたっては、「役職員への浸透」と「ステークホルダーとの対話」を強く意識する立場から、本報告書を重要課題の報告を中心とするマテリアリティ・レポートと位置づけています。

なお、本報告書で網羅しきれない詳細事項の報告、および継続的に開示しているマネジメント・社会性報告等については、2009年8月末にウェブサイトで公開予定の詳細版をご参照ください。

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/report/>

本報告書の対象範囲など

対象読者:

主にお客様、株主・投資家、役職員をはじめ、取引先、NPO/NGO(非営利組織)、全国の大和証券本支店の属する地域社会、教育機関、役職員の家族など、大和証券グループの幅広いステークホルダーの方々です。

報告対象範囲:

原則として大和証券グループ主要会社(次ページ「事業内容」で参照)。ただし、全項目についてそれら主要会社すべての情報を網羅しているわけではなく、各社の規模や事業内容などに応じて記載しています。また、2007年度の本社移転に伴い、環境負荷データの対象範囲が変更となりました。数値データには、それぞれの対象範囲を明記しています。

報告対象期間:

2008年度(2008年4月～2009年3月)。一部には、2007年度以前に行なったことや、2009年度に予定されている活動情報も含まれています。

発行時期:

2009年6月(前回2008年8月 次回2010年6月予定)

大和証券グループ